

## サービス部会一日研修旅行 報告書

- 開催日 平成 27 年 10 月 21 日（水）
- 視察先 やまなみ街道周辺の道の駅・  
松江城と周辺城下町
- 目的 城下町を活かした観光先進地の視察と  
会員相互の交流を深めるため
- 参加者 35 名（内事務局 2 名）
- 主催 三原商工会議所 サービス部会



本所サービス部会（小野恵部会長）では、10月21日（水）、お城を活かしたまちづくりについての見聞を広めるため、今春開通した「やまなみ街道」を利用し、7月に国宝に指定された松江城や周辺の街並み、そして、街道に隣接する2ヵ所の道の駅への視察研修会を実施しました。

### 松江視察雑感

三原商工会議所 サービス部会 部会長 小野 恵

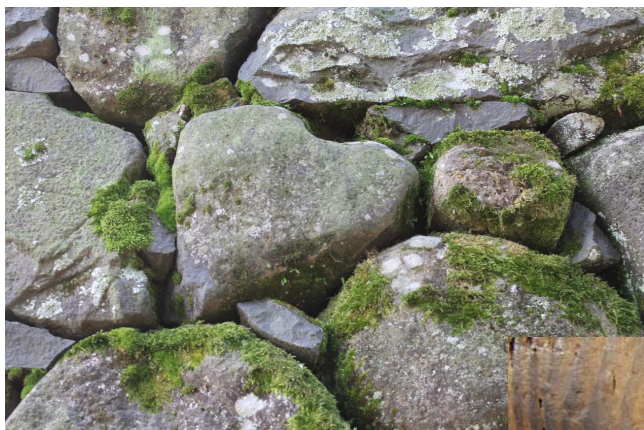
今を盛りと咲き誇るセイタカアワダチソウは、阻害物質を出して周囲の植物を駆逐する、アレロパシーという生物化学兵器を持っているそうだ。最後の最後には、自らの成長までも抑制し自滅するとされている。そんなセイタカアワダチソウと枯れ尾花の仁義なき勢力抗争を車窓から眺めながら微睡眠かけた頃、バスは松江の城下町に到着した。

ふれあい広場で遊覧船に乗り換え、『ぐるっと松江堀川めぐり』へ出航。船上から眺める松江の街並みはどこか懐かしく、水辺を彩る草花や水鳥が秋の訪れを感じさせてくれる。ガイドの話に耳を傾けながら川面を見ていると、あちこちで亀が甲羅干しをしている。よく見ると、その殆どがミシシッピーアカミミガメではないか。こうなると、水面下ではオクチバスやブルーギル、川底ではアメリカザリガニが幅を利かせている様子が容易に想像できる。

今までに登場したカタカナ生物は、すべて外来生物法により要注意外来生物に指定され、日本生態学会によって『侵略的外来種ワースト 100』に選ばれている。美しいニッポンの生態系は大丈夫か？やがて外来生物に侵略され、乗っ取られはしないか？ と、憂えているうちに船は、記念撮影のシャッター音とともに最小限の衝撃で着岸した。

錦織選手で有名になった『のどぐろ』を食し、いよいよ松江城を視察する。天守閣を見上げながら石段を上り始めると、観光客が皆、石垣で写メを撮っている。ガイドは自慢げに説明する。「石垣の中にハートの形に見える石があり、秘かな縁結びスポットになっている」と。もうひとつ、「天守閣の中の寄木柱の1本に、ハートの形の節目があり、このハートを触ると二人の力を寄せ合わせて頑丈に愛を守ることができる」とも。さらに、「このふたつのハートだけを目当てに、松江城を訪れるカップルが年々増えている」と、語気を強める。そして、「国宝指定よりも集客力がある」と、少し寂しそうに笑う。

400年以上前の築城当時、「ハート」という概念などなかったはずだ。ハートもいわゆる外来種だろう。在来種や固有種が善で、外来種が悪という考え方が古いのだ。なんでもプラスに変えてしまう貪欲さが、まちを活性化させる原動力になるのかも知れない。行きでのマイナス思考とはまったく逆の発想で頭を膨らませながら、夕陽をいっぱい浴びて、やまなみ街道を快適に南下する。



松江城の天守閣には「**寄木柱（よせぎばしら）**」と呼ばれる柱がたくさんあり、

松の一本の柱の外側に板を添えて寄せ合わせて、これを鋸（かすがい）で締めて強度を高めています。

寄木柱の作り方は力学的に非常に丈夫で、堀尾吉晴公苦心の作、松江城独特のものだそうです。

## 視察スケジュール

着時間	発時間	場所	内容	備考
	08:00	商工会議所	↓	
	08:15	隆景広場	出発	
		尾道 IC	↓	
9:30	9:50	道の駅たかの	見学	
		松江玉造 IC	↓	
11:00	11:50	松江堀川遊覧	見学	
12:00	13:00	すいてんかく	昼食	島根の高級魚のどぐろ付
13:10	15:10	松江城・小泉八雲記念館・ 武家屋敷	見学	観光案内(松江ツーリズム 研究会)
		松江玉造 IC	↓	
16:10	16:30	道の駅たたらば壱番地	見学	
		尾道 IC	↓	
18:10		隆景広場	↓	
18:25		商工会議所	到着	

## 視察見学先について



- ・ 松江堀川遊覧・・・松江城を囲む堀は、築城時の姿を今も残している。  
堀を小船でめぐる「堀川めぐり」は、松江城下の懐かしい日本の風景、築城 400 年の時を超えその姿をいまだに残す森の自然と堀の美しさを楽しめる。  
また、船頭さんの流暢な説明もわかりやすく、400年前にタイムスリップした癒しの空間を体験することができた。
- ・ 松江城・・・・・・築城 400 年、国内現存 12 天守の 1 つである。  
天守の平面面積では 2 番目、高さでは 3 番目、古さでは 5 番目と山陰で唯一保存された、松江のシンボルとして多くの人に親しまれている。平成 27 年 7 月に国宝に指定される。
- ・ 小泉八雲記念館・・・アイルランド人で作家（日本文化に関する多くの作品を著した）  
1890 年(明治 23 年)4 月、39 歳の時、ハーパー社の特派員として来日、その後中学校・師範学校の英語教師となる。  
1896 年(明治 29 年)武家の娘小泉セツさんと結婚、小泉八雲となる。
- ・ 武家屋敷・・・・・・江戸時代初期から松江藩の六百石程度の中級藩士が、屋敷替えによって入れ替わり住んだところ。1733 年（享保 18 年）大火で消失後再建されたもの。松江市の文化財に指定されたている。
- ・ 道の駅たかの・・・・農産物コーナーの充実。  
特産のりんごやその関係商品が多く販売がされている。  
朝早い時間に立ち寄ったが売り切れ商品もあった。

- ・道の駅たたらば壺番地・『たたらば壺番地』の『たたら』は、雲南市吉田町がかつて日本古来の製鉄法である『たたら製鉄』で栄えたことから名付けられたもの。また、アニメ『秘密結社 鷹の爪』のキャラクター『吉田くん』のふるさとが雲南市吉田町である。道の駅たかのかと同様に農産物コーナーが充実している。

視察当日は、「松江ツーリズム研究会」の案内により、松江堀遊覧・松江城天守に上り、また松江堀周辺にある武家屋敷、小泉八雲記念館を、参加者 35 名が 2 班に分かれて視察・見学を行いました。

参加した皆様にアンケート調査を行ったところ、各視察先についての感想・意見等たくさん頂きました。また、回答数 27 名（回収率：79.4%）全員が「参加をして良かった」との感想も頂きました。

いただいたご意見等により、今後、当部会事業や瀬戸内築城 450 年事業等の参考にさせていただきます。

以上、サービス部会一日研修旅行の報告とします。